

調査委員会における調査研究報告書

教科名（書写）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（ 2 ）	発行者（三省堂） 発行者番号（ 15 ）	発行者（教育出版） 発行者番号（ 17 ）
1 内容	<p>①第1学年『身につける』『1 はじめに』『2 読みやすく書く一楷書』『3 読みやすく早く書く一行書①』、第2学年『使い分ける』『3 読みやすく早く書く一行書②』『4 楷書と行書を使い分ける』、第3学年『使いこなす』『5 身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く』となっている。</p> <p>②課題を解決するために「書写のかぎ」というポイントがまとめてある。学習のポイントが焦点化されている。</p>	<p>①第1学年「1 楷書」「2 楷書と仮名」「3 行書」、第2学年「1 行書」「2 行書と仮名」「3 楷書と行書」、第3学年「1 文字文化の豊かさ」となっている。国語の教科書と関連させ、教材の言葉や文章を取り上げている。</p> <p>②本時に学習する内容が大きく表示されており、一目で確認できる。</p>	<p>①第1学年「1 楷書で書こう」「2 楷書と仮名を調和させよう」「3 行書で書いてみよう」、第2学年「1 行書で書こう」「2 行書と仮名を調和させて書いてみよう」「3 学習活動や日常生活に活かして書こう」、第3学年「1 行書と仮名を調和させて書こう」「2 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう」となっている。</p> <p>②「コラム」ページでは、図版が豊富で日常見られる書や先人の味わい深い書など多様な文字文化を取り上げている。</p>
2 構成・分量	<p>①「1 見つけよう」「2 確かめよう」「3 生かそう」の3ステップで構成されている。</p> <p>②教科書104ページ、書写活用ブック41ページの計145ページある。</p> <p>③毛筆見本は1年生4点、2年生4点、3年生なし、書初め見本各学年2点の計14点。</p>	<p>①ページ見開きで、右ページ右下に本時の目標、本時の学習のポイント、左ページに見本という構成になっている。</p> <p>②教科書全体で120ページある。本編（76ページ）と資料編（44ページ）</p> <p>③毛筆見本1年生5点、2年生2点、3年生1点、補充教材6点（楷書・行書どちらの見本もあり）。書初め見本各学年大作品1点、小作品1点ずつの計6点で合計20点。</p>	<p>①「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かそう」という学習の進め方になっている。</p> <p>②教科書本編のみ全144ページある。</p> <p>③毛筆見本は1年生4点、2年生3点、3年生1点、書初め学年ごとに見本大が1点、小が1点、補充教材10点の24点。</p>
3 表記・表現	<p>①毛筆見本は教科書1ページ（B5）に掲載されている。半紙より小さい。見本ページに文字がかかっている。</p> <p>②資料ページにイラストや写真がカラーで使用されている。</p> <p>③左利きへの配慮、特別支援教育への配慮（色、要素抑える、改行）、カラーユニバーサルデザイン、UDフォントの使用。</p>	<p>①毛筆見本は教科書1ページ（B5）に掲載されている。半紙原寸大の掲載もある。</p> <p>②ページカラーが単元ごとにまとまっている。写真は比較的少ない。キャラクターが毎回登場する。</p> <p>③特別支援教育への配慮（重要な項目を目立たせる。見開き完結のレイアウト）、カラーユニバーサルデザイン、効果的な書面学習のための紙質。</p>	<p>①毛筆教材は見開き完結型となっており、右ページに見本が掲載されている。半紙形は維持しているが実物より小さい。左ページは解説。</p> <p>②資料ページにカラー写真が多く使われている。毛筆教材ページには簡素なキャラクターが1回程度登場する。</p> <p>③カラーユニバーサルデザイン、左利きの生徒への配慮、UDフォントの使用、多様性を踏まえたイラストや図版、特別支援教育への配慮（書き方の基礎習得）。</p>
4 使用上の便宜	<p>①別冊資料はないが、教科書内に硬筆練習スペースがある。</p> <p>②巻末に「書写活用ブック」付録。「さまざまな書式」（手紙・ポスターの書き方など）「硬筆字典（常用漢字表・人名漢字表・行書部分の形・50音表）」「ノートの取り方・レポートの書き方」がある。</p> <p>③二次元コードのコンテンツで動画・リンク・資料・ワークシートがある。</p> <p>④教科書のサイズはB5版で比較的幅を取らずに机の上に置ける。</p>	<p>①別冊資料はないが、教科書内に硬筆練習スペースや年賀状、都道府県名の練習ページがある。</p> <p>②巻末資料に「日常の書式」「書写の広場」がある。</p> <p>③二次元コードのコンテンツに解説動画、補充教材、参考資料がある。項目ごとに配置されている。</p> <p>④教科書のサイズはB5版で比較的幅を取らずに机の上に置ける。</p>	<p>①別冊資料は特になし。硬筆練習スペースは教科書内にあるが比較的空間は少ない。</p> <p>②巻末資料に「書式の教室（手紙の書き方など）」、書写テスト、小学校・中学校での漢字一覧、補充教材集がある。</p> <p>③二次元コードのコンテンツに解説動画、補充教材、参考資料がある。項目ごとに配置されている。</p> <p>④大きさが縦25.5cm×横21cmと大きい。机上では幅を取る。</p>

調査委員会における調査研究報告書

教科名（書写）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（光村図書出版） 発行者番号（38）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内容	<p>①第1学年「①読みやすく書くための楷書」「②読みやすく早く書くための行書」、第2学年「①読みやすく早く書くための行書」「②文字を使い分ける」、第3学年「①文字を使い分ける」「②未来へ向かって」となっている。国語の教科書と関連させ、教材の言葉や文章を取り上げている。</p> <p>②「行書スイッチ」という行書を書く際のポイントが4つに整理されている。イラストにより視覚的にも注意点が把握しやすい。</p>		
2 構成・分量	<p>①全教材の進め方が、1 考えよう、2 確かめよう、3 生かそう、の3ステップになっており、生徒が見通しをもって学習を進めることができる。</p> <p>②教科書本編（巻末資料含む）140ページと資料編35ページ（別冊書写ブック27ページ、書き初めマスターブック8ページ）の計165ページある。</p> <p>③毛筆見本は1年生3点、2年生3点、3年生2点、書き初め各学年大・1点、小3点の計12点、巻末9点の合計29点。</p>		
3 表記・表現	<p>①毛筆見本は見開きで半紙原寸大の掲載が多い。</p> <p>②イラストや写真が多く掲載されている。また重要な点にしぼってカラーが使用されており、注意点やポイントを把握しやすい。</p> <p>③情報を精選したレイアウト、カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザイン書体の使用、多様性への配慮。</p>		
4 使用上の便宜	<p>①別冊書写ブックが付属している。硬筆や書写の導入に活用できる練習帳や、都道府県名と年賀状の書き方練習スペースがある。</p> <p>②巻末に「日常に役立つ書式」（手紙、願書、レポートの書き方等）、「中学生のための漢字字典」（常用漢字表、人名用漢字表、片仮名・数字・アルファベット、部分別行書一覧）、「書き初めマスターブック」がある。</p> <p>③二次元コードのコンテンツに動画、写真、補充教材が多くある。</p> <p>④教科書のサイズはB5版で比較的幅を取らずに机の上に置ける。</p>		